



# チャレンジ飼料米


平成21年度～平成25年度  
農事組合法人 瀬戸内グループ





# 山口市名田島地区

我が家






# 防府市台道干拓





# 山口瀬戸内グループの構成員

	メンバー	年齢	耕作面積
○ 組合長	 三輪利夫	73才	8.5ha
○ 副組合長	 八木 学	59才	6.5ha
○ 監事	 海地博志	69才	7.0ha
○ 総務担当	 梅本八郎	70才	24.0ha
○ 機械・施設担当	 原田鉄男	72才	7.0ha
○ 機械・施設担当	 小野信義	64才	6.5ha
○ 営農担当	 田中省治	76才	6.8ha
○ 営農担当	 大田和作	83才	5.5ha

平均年齢 70.75才 合計 71.8 ha



# 飼料用米取組のきっかけ

平成21年度、秋穂二島における  
(株)秋川牧園飼料用米試験栽培の視察会に参加

そこで

多収品種『モミロマン』に出会う！！



# H21年(株)秋川牧園飼料用米視察研修会





# 飼料米取り組みの意義

## ①食料自給率の向上

行政、地域、市民、生協との連帯運動

## ②農地利用の増進

日本の農地は水田である、お米が一番適している

## ③地域循環型農業の確立

畜産堆肥の活用と地力の強化

## ④米の特色を生かした畜産物の開発普及

行政、消費者とのコラボによる地域の活性化

## ⑤多収品種に取り組むことのおもしろさ

元気の出る農業！

## ⑥食用米の作付時期とのずれによる労力分散の

メリット！

イサも国産で!

食料自給率 **UP!** (飼料用米)

飼料米生産者の会

生活クラブ生協連合会 株式会社 秋川牧園

山口市仁保下町317 TEL083-929-0364







瀬戸内GR 最年長  
大田和作さん83歳

# 大田さん圃場 (7月)





# 海地さん圃場 モミロマン

**イサも国産で!**

**食料自給率 UP!** (飼料用米)

**飼料米生産者の会** (秋川産)

生活クラブ生協連合会 株式会社 秋川牧園  
山口市仁保下郷317 TEL083-929-0384



# さん圃場北陸193号

コブノメイガの被害



イサも国産で!

食料自給率 **UPI!** (飼料用米)

飼料米生産者の会 (.....)

生活クラブ生協連合会 株式会社 秋川牧園  
山口市仁徳下線317 TEL063-929-0364



# 山口県飼料用米推進協議会共励会調査



農研機構 吉永先生と





# モミロマン







北陸193号



# 品質チェック



# 伝票作成



# フレコン封印



# 積み込み







コンバインによる収穫、水分量は13.5%仕上げ

収穫は、籾米300kgをフレコンで生産者軒先集荷。  
品質チェックの為5本に1本の割合で1.0ℓのサンプル  
を取得し、計量と異物混入のチェックを行っている。



# 年度別 秋川牧園グループ内成績優秀者

## H22年度

- ①吉松晴光 972.6kg/10a
- ②三輪利夫 915.4kg/10a
- ③大田和作 830.5kg/10a

## H23年度

- ①三輪利夫 963.8kg/10a
- ②原田ファーム 882.7kg/10a
- ③海地博志 856.3kg/10a

## H24年度

- ①大田和作 1,004.2kg/10a
- ②海地博志 941.4kg/10a
- ③三輪利夫 942.9kg/10a

## H25年度

- ①大田和作 814.7kg/10a
- ②海地博志 770.8kg/10a
- ③農事組合法人川西 774.7kg/10a



# \*25年度生産意欲の向上

## 期間中、3回の現地視察会の開催

全生産者の圃場を全員で視察し農研機構 北陸研究センター、山口県農業技術センター、県畜産振興課の御参加もいただき、各生産者の圃場調査・収量予測など有意義な意見交換を行いました。

又、山口県飼料米推進協議会の共励会に参加し今年度は全国自給飼料コンクールにも参加します。将来にわたって維持できる農業を実現する為、瀬戸内グループを法人化



# 平成25年 農事組合法人 山口瀬戸内グループ設立総会





# 26年度への課題

- ①多収・低コスト・堆肥の地域循環を基本とする競争力のある飼料米づくり
- ②北陸193号を中心とするインディカ種の耐虫性の課題の克服（農薬に頼らない飼料米づくり）
- ③生産農家の収量の格の縮小
- ④新制度による飼料米の取り組みを成立させるため多収品種の普及に努力する
- ⑤5年間の栽培経験を新規取組の生産者へ進んで技術提供する
- ⑥数量払い導入による飼料米検査機関での数量確認の問題点  
（別表1）



# VI 水田フル活用と米政策の見直し

## 1 水田活用の直接支払交付金

水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米等の作物を生産する農業者に対して交付金を直接交付することにより、水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力の向上を図ります。

### (1) 支援内容

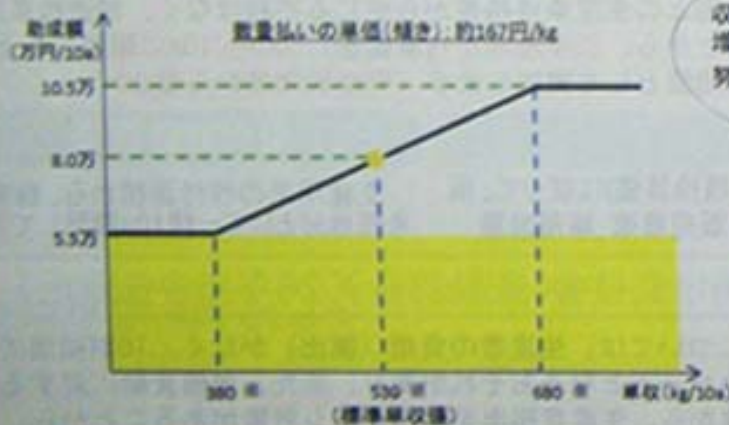
#### ① 戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	35,000円/10a
WCS用稲	80,000円/10a
加工用米	20,000円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55,000円～105,000円/10a

飼料用米と米粉用米への支援の仕組みが変わるんだね!



<飼料用米、米粉用米の交付単価のイメージ>



収量が増えるほど助成額が増えるのか... 努力が報われる仕組みだね!



※数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることとします。

※これは全国平均の平均単収(標準単収)に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収(配分単収)を適用します。

#### ② 二毛作助成

水田における主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせによる二毛作を支援します。

15,000円/10a

作付パターン(例)	交付金額(10a当たり)
主食用米 + 麦	(米の直接支払) + 1.5万円
麦 + 大豆	3.5万円 + 1.5万円
飼料用米 + 麦	5.5～10.5万円 + 1.5万円
米粉用米 + 飼料用米	5.5～10.5万円 + 1.5万円



#### ③ 耕畜連携助成

耕畜連携の取組(飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環)を支援します。

13,000円/10a

#### ④ 産地交付金

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容(交付対象作物・取組・単価等)を設定できます。
- また、地域の取組に応じた追加配分(下表参照)を行います。

対象作物	取組内容	追加交付単価
飼料用米 米粉用米	多収性専用品種への取組!	12,000円/10a
加工用米	複数年契約(3年間)の取組	12,000円/10a
備蓄米	平成26年度政府備蓄米の買入入札における落札 ※平成23年度に単別優先枠として配分した6万トンについては対象外。	7,500円/10a
そば なたね	作付の取組	20,000円/10a(基幹作) 15,000円/10a(二毛作)



# 元気な飼料米生産者





今年の目標、  
グループ全員が  
平均反収1,000kg(粳米)  
になるよう目指します！！

御清聴ありがとうございました。



農事組合法人 山口瀬戸内グループ

